

て、若者が活発に働き、お年寄りが地域の宝とたたえられ、町づくりを目指し、与えられた議席で120%働き、ピンネシリの見える故郷のある町の未来に夢を託して、さあ、今日から前進します。



杉本 初美議員

この度、突然でありました
が別世界であるかの様な場へと挑戦させていただきました、町民の皆様方の温かいご支援を賜わり町議会議員に初当選させていただきました。深く感謝申し上げます。ありがとうございます。改めてご支援してくださいました町民の皆様方の声の大きさ、重要さに深く責任を感じているところでございます。

さて、今の業界（理容）とは違い全く未知な事ではあります。すでにいくつか課題が見えてきています。当選さ

せていただいた以上、一議員として地域の皆さん、町民の皆さんの声を大切に、お役に立てるよう町政の扉を開き、議会、委員会、そして日々の議員活動に前向きに取り組みたいと思っております。そして助け合い、支え合いながら明るく元気な町づくりに本音で取り組み、輝く新十津川の町になるように努力したいと思っております。

今後とも町民の皆様方のご支援ご指導ご協力をよろしく
お願い致します。



鈴木 康裕議員

初議会が終わって間もなく、
議会事務局より宿題を出されました。議会だよりに掲載するので、抱負を400字程度に
まとめ十日後に提出の事、
トラクターで代掻きをしながら
ら思いを巡らせてみました。
町議会議員を目指しました

のは、第一に地域の方々の推薦、支持をいただいたことがその要因ですが、7年半の教育委員の活動の中で限界を感じていた時期もありました。

そのような悩みを抱えていたときに、議員になりなさいとアドバイスをしてくださった方が複数いらっしゃいました。当時はその意図されるところが理解できず、気に留めていなかったのですが、今となつては貴重なご助言をいただいたと思っております。

私は選挙で397人の方から投票をしていただきました。稲作農家らしく「きらら397」と同じ数の票数だったのは感慨深いものがありますが、町民の皆様ひとりひとりの想いを町政に反映できるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



進藤久美子議員

このたびの町議会議員選挙において、町民の皆様のご支援ご指示をいただき、日本共産党の議席を引き継がせていただきました。

樋坂前議員が築いてきた「町人こそ主人公」を貫き、「身近な相談相手」として誰からも声をかけてもらえる議員となり、町民が安心して住み続けるまちづくりを目指し全力を尽くしてまいります。

特に、町民目線を大事にしつつ、一般質問や調査活動を通じ公約実現に向け努力したいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしく
お願い申し上げます。



小玉 博宗議員

選挙への出馬、そして、多くの皆様のご支援により初当選。人生初の選挙は、私にとって感謝と感動の一幕でした。「人の役に立ちたい」

と福祉を志し、新十津川町に来て22年。多くの出会い、経験を積み重ねていただき、いつしか「町のために事を成したい」という思いが生まれてきました。この度、そのことを実践できる立場に立たせていただいたことに心から感謝し、頑張つて参ります。

さて、私が勉強させていただいている福祉の主人公は「人」です。人が地域をつくり、町をつくる。私が最も危機感を持つことが「人とのつながりの崩壊」です。現代社会の「新たな貧困」は、お金ではなく、人とのつながりがなくなる「孤独」と言われています。現在、わが町の地域を支えているのは、つながりの大切さを知っている世代。今、私達の世代がそのタスキを受け継ぎ始めなければ、次の世代には地域は存在しないかもしれません。「志高く」、私ひとりの力は微力ですが、皆様の力を結集し、新十津川の地域を守り、まちを創っていきます。今後ともご指導、ご鞭撻をよろしく願います。